

事業番号	事務事業名	恩原高原緑化事業			所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
04405	政策名	2	地域経済を支える里づくり			係名	商工観光係	担当者・シート作成者
	施策名	25	観光の振興			根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	恩原高原スキー場のシーズンオフの観光資源としての活用と、環境保全を目的にニッコウキスゲの群集を作り、夏場の観光客の集客を図ることを目的として整備するもの。 業務は一般財団法人上齋原振興公社へ委託する。	以前からシーズンオフの誘客の検討を行っていたが、国の地域住民生活等緊急支援のための交付金が後押しとなり、平成27年度から事業に着手する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 観光客	ア 恩原高原スキー場の利用者数	人	見込 実績	3,666	65,000 29,960	65,000 39,998	65,000	65,000
イ			見込 実績					
ウ			見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア リピーター、新規観光客の確保	ア 観光客入込数	人	目標 実績 達成率	500	1,000 500 50.0%	1,000 500 50.0%	1,000	1,000 50.0%
イ			目標 実績 達成率					
ウ			目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア ニッコウキスゲの植栽・管理、PR活動	ア 植付・草取・電気柵の設置等		目標 実績 達成率	10	12 10 83.3%	12 10 83.3%	12	12 83.3%
イ	イ 啓発(広報紙、ホームページ、ダイレクタメール、有線TV・新聞社の取材)		目標 実績 達成率	5	10 3 30.0%	10 1 10.0%	10	10 10.0%
ウ			目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 項		03 目		06 05		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		商工費		商工費		観光費		恩原高原緑化事業						
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	2,000	2,200	2,380	2,290	2,290	180	一般財源	2,000	2,200	2,294	2,290	2,290	94		
合計	2,000	2,200	2,380	2,290	2,290	180	合計(A)	2,000	2,200	2,294	2,290	2,290	94		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						1	1	1	1	1	1			
	人件費計(千円)(B)						4	3	3	3	3	3	0		
	最終予算額		2,380 千円		予算執行率		96.3%		トータルコスト(A+B)		2,004	2,203	2,297	2,293	2,293
主な 支出事業内容 (予算)	委託料					238 千円		主な 支出事業内容 (決算)	委託料					229 千円	

事業番号	04405	事務事業名	恩原高原緑化事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	----------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
観光客発信のSNSや有線TV等により認知度は向上しており、担当課への問い合わせも多数ある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
5カ年の事業計画は完了したが、スキー場の夏場の有効利用の一つとして事業継続している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
植栽範囲の拡大をしてはどうか。現地にたどり着きやすいように看板を設置してはどうか。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	ニッコウキスゲの観覧に料金は徴収しておらず、本事業自体に経済効果はあまり見込めない。飲食店等の周辺施設利用による地域経済の活性は多少は考えられる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	観光客の増加を目的としており、観光振興のために町が税金を投入することは妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	観光客を対象としており、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	植栽範囲の拡大、土壌改良による開花状況の改善によってはさらなる集客が見込める。本年度は外部講師の指示を仰ぎ、土壌改良を試みた。成果は来年度の開花状況で判明する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	毎年開花時期には問い合わせが多数あり、観光客の減少は懸念される。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	全国的にもニッコウキスゲの観光地は珍しいため、メディアやSNS等で大々的なPRを行うことで認知度を高め、観光客の増加を図る必要がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	本年度は開花状況改善のための土壌改良を試みた。毎年必要な作業を行っており、削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	現地作業の事業は一般財団法人上齋原振興公社に委託しており、本事業に係る職員は1名で行っているため削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	観光客全体を対象としているので、受益者負担は公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、3密を避けやすい屋外の観光地として、問い合わせが多数あった。新たな試みとして、さらなる開花を目標に外部講師に植栽指導を依頼した。観光客の集客に多少は貢献していると考えられるが、本事業自体に観光客が利用料金等を支払うことはないため、投入している事業費を上回る町内での消費は期待し難い。																						
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 本来、恩原高原はニッコウキスゲが開花しにくい土地・環境であるため、植栽範囲の拡大は慎重に検討する必要がある。外部講師の指導を受けたうえで、令和4年度の開花状況の改善が見られない場合は、事業終了も視野に今後を検討する必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																								
観光スポットの減少																								